

日本発条株式会社

1. 会社の概要

- (1) 会社名：日本発条株式会社（略称・ニッパツ）
- (2) 所属部会：関東金属機械部会
- (3) 資本金：170億957万円
- (4) 従業員数：3,781名
- (5) 事業内容：懸架ばね，シート，精密ばね，HDD用サスペンション，産業機器（ろう付製品，セラミック製品，配管支持装置，ポリウレタン製品，プリント配線板，機械式駐車装置），情報セキュリティ製品
- (6) 企業理念

「グローバルな視野に立ち
常に新しい考え方と行動で
企業の成長をめざすと共に
魅力ある企業集団の実現を通じて
豊かな社会の発展に貢献する」

(7) 中期経営計画

当社は、2007年度を達成年度とする3カ年中期経営計画（07中計）を策定した。07中計は、社員一人ひとりのパワーアップをベースに

- ① さらなる拡大成長路線を進む事業展開
 - ② 一層の品質向上と原価低減の追求
 - ③ より透明性の高いガバナンス体制づくり
- を主なテーマとして「さらに上」をめざす。

2005年度より、グループをあげて07中計の早期実現に取り組んでいく。

(8) CIマーク

NHKニッパツ



本社

2. 知的財産部門の概要

(1) 組織上の位置づけ

知的財産部は研究開発本部に属する。2004年4月に、情報特許部から知的財産部に名称変更した。

(2) 構成および人員

知的財産部には10名が所属しており、当社およびグループの知的財産に関する業務を遂行している。

出願業務の担当者が各生産本部・事業本部・関連会社を分担し、発明の発掘から出願・中間処理、契約業務、係争関係まですべての業務をこなしている。また、管理業務の担当者は、期限管理、データ管理、報償金・補償金などの業務を行っている。

(3) 知財戦略推進委員会

研究開発本部長を委員長として、各生産本部・事業本部などの委員および推進担当者で知

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

財戦略推進委員会を組織している。この委員会は当社の知的財産権戦略の一翼を担うものであり、知財方針、特許現況の報告のほか、規程の見直しや報償制度の改訂など、知財に関わる重要な問題を審議する。

3. わが社の知的財産活動

(1) グループ知財ポリシー

グループ経営を強力に推進するためには、グループの知的財産を共有化できる管理体制が必要である。

2004年7月、知財戦略の推進に向けて次のグループの知財ポリシーを策定した。

- ① グループ経営戦略に資する知的財産の増大を図り、グループ内での共有化を推進すると共に経営資源としての有効活用を図る。
- ② 他社の知的財産権を侵害する製品の製造・販売をしない。
- ③ グループ知財戦略の推進体制整備と人材の育成を図る。

(2) 職務発明報償制度の改正

特許法の改正を契機に、従来の報償制度を改正して、平成17年4月1日より新しい報償算定基準を採用した。過去の裁判例などを基に、「合理的」となるように検討、策定した後、社員との協議を経て改正した。

報償金の上限撤廃やライセンス収入に対する算定方法などを見直し、社員の発明に対する意識を高めることとした。

改正にあたっては、社員との協議のため説明会を開催し、また、全社員が利用できる社内のイントラネットにも説明資料を掲示して改正内容を周知した。

(3) 知財教育

社内およびグループの知的財産知識普及のため、外部の弁護士、弁理士等を講師として知的

財産に関する講演会を開催している。1999年9月より開始して、現在までに50回以上実施した。講演内容も「発明の見つけ方」、「特許情報の調査」といった基礎的なものから、「外国特許制度」、「紛争解決方法」や「経営戦略」、「知的財産評価」に至るまで、基礎から応用まで多彩なテーマで企画しており、参加対象も役員クラスから管理職、担当までを網羅している。

また、より細やかな教育を行うため、講演会以外にも人事研修を行っており、入社時、入社2年目、新任主任および新任基幹職を対象として、それぞれのキャリアに合わせたカリキュラムも組んでいる。

(4) 発明の発掘活動

知的財産を戦略的に活用するためには、質の高い知的財産を数多く備えることが必要であるが、当社ではまず知的財産を増やすための活動に重点を置いている。

各生産本部・事業本部の知財担当者を中心に技術者とも協力し合い、特許検討会を開催している。それぞれの事業の動向や各製品に関わる自社、他社の知的財産を調査、分析して、今後の出願方針を定めている。また、開発部門の開発会議などにも積極的に出席し、技術者と共に開発の初期段階から発明の発掘活動を行っている。

(5) 知的財産の活用

2003年度より特許流通フェアに出展し、知的財産の活用を図っている。実施を許諾した実績を踏まえ、継続して出展する。

グループ知的財産戦略に基づき、グループの知的財産をより一層強化してその効率的な運用を図っていく。

(原稿受領日 2005年5月25日)